



探究スキル



教材のねらい

課題を設定あるいは発見し、解決に必要な情報を集め、整理・分析し、その結果をまとめ・表現する、この一連の流れを「探究」と呼びます。新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図るとされていますが、特に「深い学び」では「習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程」と表現されています。探究というと、総合的な学習の時間の学びをイメージされる方もいらっしゃるかもしれませんが、新学習指導要領では、総合的な学習の時間でこれまで取り組んできたような探究的な学び方を教科にも持ち込み、「深い学び」を実現しようとしています。

しかしながら、教科の限られた時間の中で指導すべき内容は指導しつつ、探究的に学ぶ時間を確保することはできるのでしょうか。カリキュラム・マネジメントはその解決のために教科横断的に教育課程を捉え直す営みです。情報活用能力の中でも「探究スキル」は、子供たちが探究的に学ぶ際、支えとなる力です。たくさんの情報の中から取捨選択するとき、比較したいとき、整理したいとき、シンキングツール(思考ツール)等を使いながら情報を整理する技法を身に付けていれば、課題解決がスムーズになります。探究の計画を立てたり、途中で見直したりする力も探究スキルには含まれます。

本ワークシートは、探究的な学習であれば、どの学年・教科・単元の学習においても活用することができます。子供たちの実態や学習のねらいに合わせ、文言等を変更して活用していただくことで、様々な探究スキルの習熟を図り、より深い学びを目指していただければと思います。

アドバイザー

東北学院大学教授 稲垣 忠

略歴

文部科学省「情報活用能力調査事業」企画推進委員や、同「次世代の教育の情報化推進事業『情報教育の推進等に関する調査研究(IE-School)』」委員、同「『教育の情報化に関する手引』作成検討会」委員、経済産業省「未来の教室」実証事業教育コーチなど多数歴任。本教材では、活動スキル・探究スキルを担当。